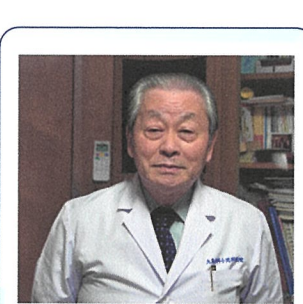


インタビュー 大島内科小児科医院

一層のスムーズな医療連携は
今後ますます必要です。



大島 健一 院長
・元那須郡市医師会長
・元栃木県医師会理事
・元日本医師会代議員

「かけはし」では、地域の先生方にインタビューをさせていただき
地域医療に関わるお話しやお知らせをお届けしています。
今回は大島内科小児科医院院長の大島健一先生にお願いしました。

当院との医療連携について期待されることはどのような事ですか？

当院に開院して39年が過ぎました（1977年10月7日開院）。当時は医療機関が少なく毎日多数の患者さんが来院され、また休日や夜間に診療や往診を依頼され、私も患者さん大変な時期でした。このままではまずいと那須郡市医師会員の先生方の協力で現在休日当番医（午前9時から午後5時まで）と365日那須地区夜間急患診療所（午後7時より午後10時まで）が行われております。また夜間10時以降は2次救急当番病院が「一般」と「小児」とに決められて対応しております。近年、国際医療福祉大学病院に於いて専門診療の充実が顕著であり、県北地域医療にとって喜ばしいことです。今後とも益々の専門医療の充実を期待します。

毎日乳幼児から高齢の患者さんを診ておりますが、ただちに専門的検査や治療、手術が必要な方がおります。その時は国際医療福祉大学病院に医療連携室を通してお願いすると、スムーズに引き受けていただいております。貴院に受診した患者さんの診断・検査結果・今後の治療方針等の報告もしていただき、病状が落ち着いた方は逆紹介していただけるなど患者さんも感謝しておられます。また、訪問リハビリ・訪問看護での病状の報告を月1回いただきありがたいと思います。今後も患者さんの中心の病診連携を期待します。

ご自分のクリニックで力を入れていることを教えてください。

私の専門は糖尿病内科ですが、糖尿病は血管の病気ですので早期から全身の管理に努めております。副院長は消化器内科が専門ですが、かかりつけ医・総合診療医として、どのような訴えの患者さんでもよく話を聴き診療して現在の状態、今後の方針を説明するよう心がけております。

最後に地域の方々、患者さんへ一言

かかりつけの患者さんが、他医療機関を受診される時は、紹介状を書いてもらって受診するように、また、お薬手帳を忘れずに持参するようお願いいたします。



大島内科小児科医院
副院長
大島 里香子 先生

ご自分のストレス解消法を教えてください。



油絵、ゴルフ、ドライブでしたが最近ではもっぱら旅行、観劇、サルコペニア・フレイル予防のための有酸素運動、レジスタンス運動を心がけております。油絵は中学生の頃より描いており、作品を診察室などにかざっております。旅行は、学会などで全国いろいろ行きましたが、最近では妻と一緒にゆったりと旅行しております。那須では絵を描いたり散策したり、熱海では潮風を感じ、海の幸を堪能してリフレッシュしております。また、気の合った先生方と月1回の勉強会は何よりのストレス解消法です。

「かかりつけ医」とは病気になったとき、真っ先に相談できる身近なお医者さんのことです。慢性的な病気や一過性の病気（風邪）、気になる症状も相談できます。ご家族も含めて病歴や病状、健康状態や生活環境まで把握していただけるので、いざというときに対応していただけます。そのため、予防も含めて普段から病気の相談や身近な診療を行っていた「かかりつけ医」を持ちましょう。



基本情報



- ◆ 院 長 大島 健一
- ◆ 住 所 那須塩原市錦町4-20
- ◆ 電 話 0287-62-0106
- ◆ 診療科目 内科、小児科、循環器内科、呼吸器科、消化器内科、糖尿病内科、皮膚科
- ◆ 休 診 日 日・祝日曜日

2017/3/25

国際医療福祉大学病院
発行：地域医療連携室

国際医療福祉大学病院
～連携通信～

第11号



平成28年度地域医療福祉ネットワーク定例会開催

栃木県北地域の医療・介護・福祉の向上を目指して平成28年1月に設立された国際医療福祉大学病院地域医療福祉ネットワークの平成28年度定例会を平成29年1月23日に当院のB棟4階研修室4において下記のごとく開催しました。

1. 開会の辞 地域連携室部長 柴 信行
2. 地域医療福祉ネットワーク会長挨拶
鈴木明裕先生（西那須野・塩原地区医師会長）
3. 主な議事
 - ①地域医療福祉ネットワーク登録状況
 - ②かかりつけ連携手帳
 - ③突然死撲滅キャンペーン
4. 地域医療福祉ネットワーク副会長挨拶
三森 薫先生（黒磯・那須地区医師会長）
5. 閉会の辞



地域医療福祉ネットワーク 鈴木明裕会長挨拶

鈴木会長のご挨拶では、本ネットワークの特徴である、病院とクリニックの双方向連携、多職種連携の形成、良質な地域完結型医療、住民参加型ネットワークの早期実現への協力についてお話がありました。議事においては、平成29年1月までに49施設・50名の医師のネットワーク登録があったことが報告されました。また、病診間の簡易型情報共有ツール「かかりつけ連携手帳」を本年4月から運用開始すること、ネットワークの事業として行われる「突然死撲滅キャンペーン」について報告がありました。三森副会長から、より良い医療・福祉・介護を住民に提供するシステムの構築推進についてお話をいただき、定例会を終えました。



地域医療福祉ネットワーク定例会



かかりつけ連携手帳



地域医療連携室 月曜日～土曜日 9:00～17:30
医療相談室 月曜日～土曜日 9:00～17:30
休診日・夜間等の救急紹介の場合は、0287-37-2221（代表）から担当医師に取り次ぎます。

地域医療連携室ホームページ URL: <http://hospital.iuhw.ac.jp/cooperation/index.html>

平成28年度地域医療連携室連携懇談会・症例検討会開催

平成29年1月23日ネットワーク定例会開催に続いて、連携懇談会・症例検討会をB棟5階講堂において下記のごとく開催しました。

1. 開会の辞 副院長 柴 信行
2. 主催者挨拶 病院長 桃井眞里子
3. 来賓挨拶 那須郡市医師会 会長 深町 彰先生
4. 地域医療連携室実績報告 地域医療連携室 吉成和子
5. 症例検討会

症例1 消化器外科

『消化器外科領域における手術支援ロボット da Vinciの現状と展望』
消化器・乳腺外科副部長 大平寛典准教授

症例2 救急部

『腋窩膿瘍よりSeptic shock, Acute kidney injury
を呈した1例』

初期研修医 人見俊一医師



副院長 柴 信行



副院長 大竹孝明



副院長 鈴木 裕

6. 地域医療連携懇談会

司会 副院長 鈴木 裕

- 1) 乾杯 地域医療福祉ネットワーク会長 鈴木明裕先生
- 2) 着任医師紹介 副院長 柴 信行
- 3) 中締め 副院長 大和田倫孝

着任医師紹介



整形外科
原田和弘



小児科
田中大輔



消化器内科
須藤大輔



血管外科
教授 松本拓也



麻酔科副部長
教授 有山 淳



北島敏光先生



鈴木正徳先生



江部 寛先生



山田 聡先生



小沼一郎先生



増山仁徳先生



病院長
桃井眞里子



医師会長
深町 彰先生



大平寛典医師



人見俊一医師



ネットワーク会長
鈴木明裕先生



副院長 大和田倫孝

地域医療福祉ネットワーク 突然死撲滅キャンペーン開催

平成29年2月19日に当院B棟4-5階において国際医療福祉大学病院・地域医療福祉ネットワーク共催：突然死撲滅キャンペーン「心疾患を予防して突然死から身を守ろう」を下記のごとく開催しました。

【午前の部】

普通救命講習会

- 1) 挨拶 副院長 柴 信行
- 2) 挨拶 西那須野消防署救急第2係長 鈴木貴人様
- 3) 講習会：普通救命講習Ⅰ



西那須野消防署
救急第2係長 鈴木貴人様



心肺蘇生法について説明

【午後の部】

市民公開講座

司会：総務企画課 藤田直美

1. 挨拶

病院長 桃井眞里子
ネットワーク会長 鈴木明裕先生



病院長
桃井眞里子



ネットワーク会長
鈴木明裕先生



普通救命講習風景

2. 講演

座長：地域医療連携室部長 柴 信行副院長

①突然死とはなんだろう？

講師：循環器内科 佐竹洋之医師

②怖い病気：急性心筋梗塞をみつけよう

講師：循環器内科 武田守彦医師

③心臓病を起こしやすい病気：糖尿病を学ぼう

講師：糖尿病内分泌代謝科 保川信行医師



副院長 柴 信行



市民公開講座 講演風景



パンフレットを配布



佐竹洋之医師



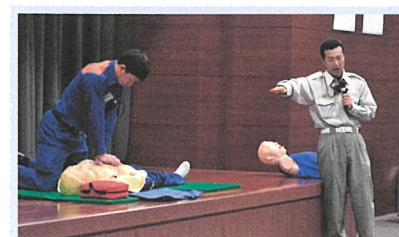
武田守彦医師



保川信行医師

3.体験コーナー

救命入門コースに準じた簡易救命講習



心肺蘇生法について説明

栃木県北地域では年間約300例の院外心停止が発生しています。このうち約5割は心血管疾患が原因で、特に致死性不整脈によるものが多いことが当院循環器センターの調査で判っています。正しく救急蘇生を行うことで、院外心停止症例の社会復帰率は改善します。地域医療福祉ネットワークでは、この地域の突然死を予防し、正しく救命するために、那須地区消防組合のご協力を頂いて、普通救命講習Ⅰを30名の方に、簡易救命講習を77名の住民の方に行いました。また、院外心停止を起こしやすい心臓病と、心臓病の原因となる糖尿病についてのレクチャーを行いました。当日は277名の参加があり、大変熱心に突然死予防について学んで頂きました。



心肺蘇生法体験風景

